

# 受注者のみなさまへ

## 公衆物損事故に注意！

県発注の工事等において、**架空線・埋設管の破損**や**一般車両への損傷**など、**公衆物損事故**が多く発生しています。

労災防止はもとより、公衆事故を防ぎ、より安全な現場を作り上げるため、このチラシを活用するなどして、全ての現場関係者へ周知し、事故防止に努めてください。

※事故が発生した場合、現場や被害者への対応のほか、各種処分、成績の減点等のペナルティが課される場合があります。

### 最近の事故事例と原因

事故の概要	発生原因
<b>架空線の切断</b> 重機・車輛の移動や旋回中にアーム・ボディが架空線に引っかかり切断。	オペレーター・運転手への周知不足 作業手順の遵守を怠る
<b>埋設管の破損</b> 掘削作業中に埋設されていた上水道管に重機が接触し破損、断水発生。	作業前の確認不足 オペレーターへの注意喚起・情報提供不足
<b>一般車両への損傷（小石の飛び跳ね）</b> 草刈作業中、草刈り機の刃が石を引っかけて石が作業エリア外に飛び出し、通行中の一般車両のガラスを破損。	防護材等の飛散防止措置を怠った 防護材の設置に安心し、作業に慎重さを欠いた

### 現場での注意喚起にご利用ください。

- 支障物件の有無を確認しましたか。  
(上空・地下・現場周辺、種類・位置)
- 支障物件について、管理者や発注者（下請の場合は元請）に、情報を確認しましたか。
- これらの情報について、現場全体で共有できていますか。
- いつもと違う重機、手順での作業ではありませんか。
- 防護材は十分かつ効果的に設置されていますか。
- 看板や仮設材等の固定が緩んでいるところはありませんか。
- 万が一の場合の連絡体制を確認していますか。

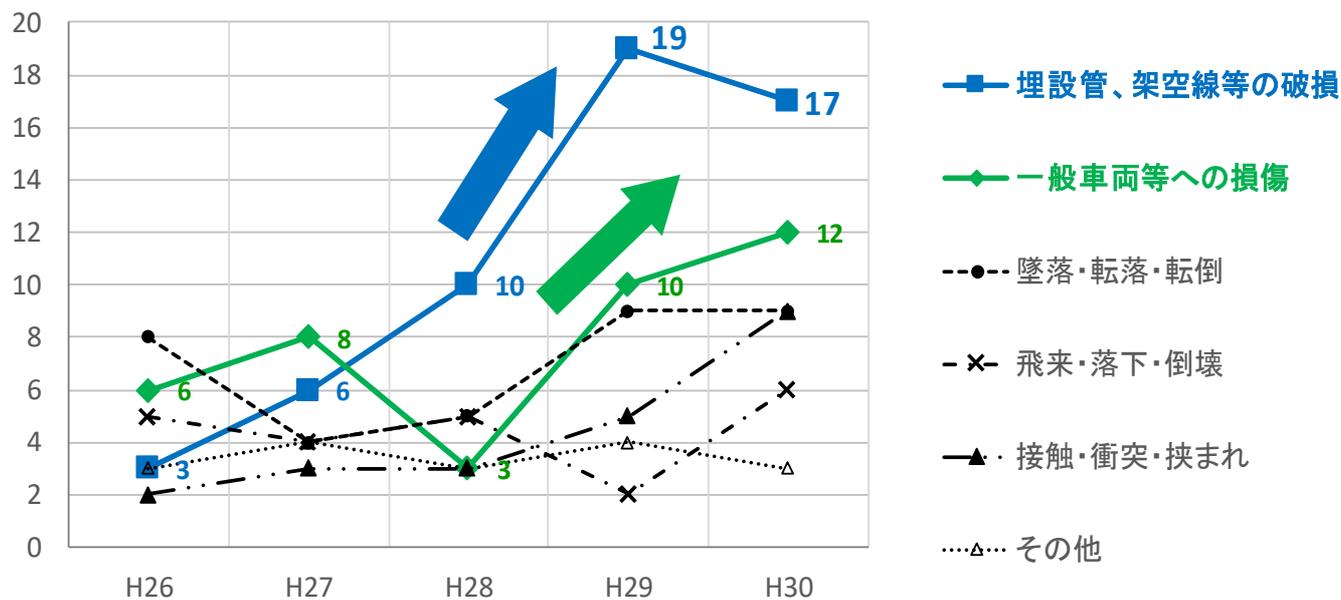
※これらは一例です。現場状況に応じて適切なチェックをお願いします。



©岡山県「ももっち・うらっち」

近年、埋設管・架空線等の破損、一般車両等への損傷件数が急増している

【H26～30年度 岡山県発注工事における事故類型別発生件数推移】



H26～30年度 事故類型別件数 (単位：件)

事故類型	H26	H27	H28	H29	H30
工事従事者の墜落・転落・転倒	8	4	5	9	9
原因物等の飛来・落下・倒壊	5	4	5	2	6
機械・車両等との接触・衝突・挟まれ	2	3	3	5	9
<b>埋設管、架空線等の破損</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>19</b>	<b>17</b>
<b>一般車両等への損傷</b>	<b>6</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>12</b>
その他	3	4	3	4	3
<b>計</b>	<b>27</b>	<b>29</b>	<b>29</b>	<b>49</b>	<b>56</b>

※技術管理課庁内WEB「事故発生情報」抜粋

平成30年度は全体の5割超を **公衆物損事故** が占めた

【H30年度 岡山県発注工事における事故類型別発生割合(N=56)】

